

実務経験のある教員等による授業科目

シラバス

音楽技術学科

照明スタッフ専攻

授業科目		授業時数
音楽業界概論		60
学年	学科	専攻
1	音楽技術学科	照明スタッフ専攻
担当講師(プロフィール)		
豊島 芳樹 ホール音響、音楽録音、ラジオ番組制作、設備・メンテナンス等あらゆる形態の現場を経験しており、それぞれの形態を詳しく教授する。		

前期	
到達目標	
音楽ジャンルの知識を持つ / 音楽業界の仕組みがわかる 様々な舞台芸術、コンサートと興行について理解する	

評価方法	
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他	

授業計画	
授業項目	実施内容
1 学内生活説明① 施設設備について	学内にあるいろいろな専攻が使用する施設・設備の見学を行います。また、技術者として「音楽」の表し方を理解できるように導いていきます。
2 学内生活説明② 音楽技術学科のカリキュラムについて	技術者としてソフトからハードまで勉強を重ねていくカリキュラムを説明、担当される講師の方々も紹介していきます。年間で予定されている行事やイベント等も説明していきます。
3 学内生活説明③ 他専攻について	音楽業界の一部をシミュレートしたかたちの学校を紹介いたします。「原盤制作」があり音楽の世界は出来上がっている、その内容を支えている意味で技術・演奏・総合・楽器(ダンス)があります。
4 学内生活説明④ PC類について	デジタル化が急激に進む中、技術系は、とても進歩しています。その入口となるキーボード操作、その意味を理解してください。PCへの意思付けを重要としています。音楽パッケージのかたちも理解しましょう。
5 音楽ジャンル① ロック・ポップス全般	ここでは、一般的な洋楽ロック・ポップスを取り上げます。やはり流行も大切ですが、歴史上必要な音楽も沢山あります。担任チャイムの一例を取り上げます。(VTR視聴)
6 音楽ジャンル② J-POP、歌謡曲	日本で就職することを考えると必要な分野だと感じます。大枠としての内容を理解していきます。(VTR視聴)
7 音楽ジャンル③ その他の分野	R&B、ブルース、ジャズ、ゴスペル、ソウル、ファンク、ラップ、サンバ、ボサノバ、ラテン、ワールドミュージック等を、その他の分野としました。(VTR視聴)
8 研修関連についての説明	企業研修についての取扱いや公欠処理のルールについて、また検定やメール・電話検定の実施についての説明を行う。
9 音楽業界について	第一段階として、基本的なプロダクション、レコード会社、音楽出版社、から成り立つ音楽業界の仕組みを少し学んでみましょう。
10 舞台芸術①	音響芸術に直接関係のあるイベント作品を学びます。屋内コンサート、野外コンサート、ライブハウス、イベント催事等
11 舞台芸術②	音響芸術に直接関係のあるイベント作品を学びます。宝塚大劇場、オーケストラ、歌舞伎、能舞台、オペラ等
12 ライブハウス・コンサート等 音楽を主体とする大小の興業について	音楽を生で届ける方法として、ライブが一般的ですが、その方法も変化していきます。ここでは、ワンマン、チケット販売、グッズ、プロダクション、イベンター等も交えて、音響関連企業に発注されるまでの流れを知ってください。
13 総復習	職業としての音楽技術学科は、ソフトの理解が必要です。ある程度のことを知っていれば、その現場終了後に、再度勉強すれば頑張れます。そのためにも、前期内容のおさらいをしておきましょう。
14 前期試験	
15 FOLLOW	自分の不得意な部分を知り、ハッキリさせた上で次の目標を考えたり、自分が進むべき方向感を持って後期に望みます。

授業の方法	
講義・演習・実験・実技・実習	
授業概要	
音響関連企業、照明関連企業、映像関連企業、プロダクション、レーベル、レコード会社等、多岐にわたる業界関連企業を理解して、個々の就職に向けた活動に役立てていける概論です。 <実務経験のある教員等による授業科目>	
使用教材:	

後期	
到達目標	
著作権の基礎知識がわかる / 音の伝達について理解 映像関連と放送業界を知る / 就活対策を行う	

評価方法	
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他	

授業計画	
授業項目	実施内容
1 楽器について	身近なLM楽器。ギター、ベース、ドラム、キーボード(PIANO)の内容について学びます。イベント中、彼らが袖に来た時にチェックできる内容やプロとアマチュアでは、こちらも出来る内容が変わります。
2 著作権①	まずは、原盤制作に関する著作権について学んでいきます。作詞・作曲、アーティストに対する印税等、まずは、音楽直接の権利です。
3 著作権②	音楽の世界だけでなく、大きな意味での「著作」を学んでいきます。演出・振付・図面・建築・キャラクター等も含めて知っておきたいものです。
4 聴覚と言語	耳の仕組み(外耳～中耳～内耳)とそれぞれの働きを学びます。また日本語と英語の音節数の違い等を理解していきます。
5 一般教養[物理/科学]	世間一般的な内容を中心にテスト問題を解いていきます。成績に反映されるものではなく、あくまで就職試験を想定したものとして活用していきます。
6 一般教養[スポーツ/芸能]	
7 一般教養[歴史/地理]	
8 コンサートPA	PA(パブリックアドレス)、SR(サウンドリフォーメント)という内容や、常設のライブハウス、トラックでの搬入作業を伴うコンサート等、実際の音響関連設備等について学ぶ。
9 レコーディング	一般的なレコーディング作業の流れを解説します。データ、リズム録り、オーバーダブ、ボーカル録り、コーラスetc等、人の出入りやスケジュール等色々な影響で作業手順も変わります。また、諸面の必要性も問われます。
10 映像関連	イベント会場では、もう馴染みの映像関連。そのシステムを簡単に学んでみましょう。学校では、学園祭シーズンに配置されます。
11 放送業界①	TV業界について、その仕組みと構造を知識として勉強していきます。この業界では、音声さんと呼ばれます。音響会社と業務提携というかたちで仕事になります。
12 放送業界②	ラジオ業界についての仕組みも理解していきます。音楽が好きであれば、クルーが小さいため、制作とひとつのチームとし仕事ができる職業です。
13 総復習	関連業界の内容も含み、ちょっとした知識が沢山出てきました。就職に役立つ内容として理解してください。
14 後期試験	
15 FOLLOW	ある程度の研修をこなせる実力は、あるようになってきます。後は、現場は「人」ありきのものなので、コミュニケーション力をUPさせる努力をしていきましょう。

授業科目		授業時数
音楽技術論		60
学年	学科	専攻
1	音楽技術学科	照明スタッフ専攻
担当講師(プロフィール)		
松井 智恵美 照明センスに加え、色彩を使いこなすイラストレーターでもあるため、高いアーティスト的な感覚とともに技術や知識を学生にも伝えてくれる教育をしてくれる		

前期
到達目標
知識として必要な舞台用語、歴史、照明用語や、直流電流など、舞台及び、照明用語の習得。

評価方法
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他

授業計画	
授業項目	実施内容
1	オリエンテーション 授業の導入として、学校へ入学するきっかけなどを聴いていきます。また、照明業務に必要な単位についてや舞台についての基本的な内容についても解説を行います。
2	CATホール 実際の授業を行うホールについての説明を行うとともに舞台、幕類の名称や舞台機構の名称の解説を行います。
3	照明設備の名称編 1. サスペンションライト、2. ボーダーライト等照明設備の基本的な部分の名称について解説を行う。
4	照明器機編 フラッドライト・スポットライト等の照明機材についての名称を解説する。
5	カラーフィルター編 ポリカラーフィルターの色番号。色温度変換フィルター・拡散フィルター・その他のフィルターについて解説する。
6	照明器具の重さについて 照明で使用する機材の重量を予測し記入する。また、実際に機材の重量を測定し覚える。
7	シューティングについて 地明かり・斜め明かり・フロントサイド・シーリングサイドスポットの明かりの当て方を解説。また、さまざまな当て方がある事も学ぶ。
8	単位について SI基本単位・SI組立単位・接頭語について学ぶ。また、電気についての考え方、東日本・西日本での周波数の違いについても解説する。
9	直流電源 電池の仕組みを説明しながら直流電源の仕組みについて学びます。また、さまざまな電池の種類を説明し、直列接続・並列接続について解説します。
10	安全な電機取り扱い 感電および短絡(ショート)について説明。スライダックを使用して指での感電を体験する。また、実際にショートも体験する。
11	電気の抵抗 電気を扱う上でもっとも基礎となるオームの法則について学習し、練習問題をいくつか解いていきます。
12	電気の作用について 電気の作用についての解説を行います。
13	テスト範囲説明 前期の試験範囲の説明を行い、またこれまでの復習や補足を行います。
14	前期試験
15	答え合わせ 前期試験の返却を行い、それについての答え合わせ、解説を行います。

授業の方法
講義・演習・実験・実技・実習
授業概要
照明の仕事としての舞台用語や歴史、ホールの種類や構造、照明器具類や電気の知識、現場などでの仮設電源に関する知識を学びます。 <実務経験のある教員等による授業科目>
使用教材:舞台テレビジョン照明 基礎編

後期
到達目標
知識として必要な直流電流、交流電流などの電気的な知識の習得と舞台照明への応用。

評価方法
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他

授業計画	
授業項目	実施内容
1	電力について 電力・電力量の計算について解説します。同時に練習問題を通して学習していきます。また、電気の3作用(磁気、発熱、化学)についても説明します。
2	負荷の接続 直列接続を復習しながら抵抗(負荷)についても学び、それについての練習問題を行います。
3	負荷の接続 並列接続を復習しながら抵抗(負荷)についても学び、それについての練習問題を行います。
4	小テスト これまでの内容について、復習を行い、それについての小テストを行います。
5	小テスト答え合わせ 前回の小テストの答え合わせを行い、それについての解説、補足をします。
6	コネクター・プラグの許容電流、許容電圧 さまざまな種類のコネクター・プラグの許容電流、許容電圧について説明します。また、電線の許容電流、キャプタイヤケールの許容電流についても学習します。また電圧降下についても解説します。
7	交流 交流電流についての説明。また、ここでは交流が使用される利点についても解説します。
8	交流における電圧・電流・抵抗の関係 抵抗・コイル・コンデンサーに交流電圧を加えた時に流れる電流について学びます。
9	配電方式① 単相交流・三相交流を元に交流電源の配電方式について図を使って説明します。交流電源の中でもっともシンプルな単相二線式と単相三線式の配電方式について学びます。
10	配電方式② 交流電源の中でもっともシンプルな単相二線式と単相三線式の配電方式について学びます。交流電源の中でもっとも効率の良い三相三線式・三相四線式の配電方式について学びます。
11	仮設電源 常設の調光ユニットが足りない場合や、常設ユニットがない野外イベントなどの説明を入れながら、仮設電源について設営・撤収の段取り等を学びます。
12	仮設電源 常設の調光ユニットが足りない場合や、常設ユニットがない野外イベントなどの説明を入れながら、仮設電源について設営・撤収の段取り等を学びます。
13	試験範囲説明 これまでに学んだ内容を復習し、後期試験の範囲の解説を行います。
14	後期試験
15	答え合わせ 後期試験の返却を行い、内容についての解説、補足などを行っていきます。

授業科目		授業時数
技術演習		120
学年	学科	専攻
1	音楽技術学科	照明スタッフ専攻
担当講師(プロフィール)		
<p>川原 正弘 数々の舞台、イベント現場で照明を担当、新旧の機材に精通しており、特に初心者への教育には定評がある。自らの会社でも後進の育成に励んでいる。</p>		
前期 到達目標		
企業研修見極め試験に向けて照明の基礎となる部分を反復して行い、企業研修見極め試験合格を目指します。		
評価方法		
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1	オリエンテーション 作業での安全基準の説明をし舞台機構や名称、器具の取扱い方を解説する	
2	吊り込みの基礎 サスペンションライトでの吊り込み方法と回路取りについて解説し実際に作業を行う。回路取りをする際には延長ケーブルを使用し、使用上の注意事項を含め作業に取りかかる	
3	吊り込みの基礎 サスペンションライトでの吊り込み方法と回路取りについて解説し実際に作業を行う。回路取りをする際には二又ケーブルを使用し、使用上の注意事項を含め作業に取りかかる	
4	吊り込みの基礎 サスペンションライトでの吊り込み方法と回路取りについて解説し実際に作業を行う。回路取りをする際には二又ケーブルを使用し、使用上の注意事項を含め作業に取りかかる	
5	吊り込みの基礎 サスペンションライトでの吊り込み方法と回路取りについて解説し実際に作業を行う。回路取りをする際には二又ケーブルを使用し、使用上の注意事項を含め作業に取りかかる	
6	CLのシュート シーリングスポットライトの役割とシュート方法を解説し実際に作業を行う。シュート方法を理解し確実に作業を行えるようになることを目標とする	
7	FRのシュート フロントサイドスポットの役割とシュート方法を解説し実際に作業を行う。シュート方法を理解し確実に作業を行えるようになることを目標とする	
8	ピンスポットライトの基礎 1Kwクセノンピンスポットライトの構造と操作方法を説明する。狙いの取り方、カットイン、カットアウトやフェードイン、フェードアウト等の違いを説明し確実に操作を行えることを目標とする	
9	模擬試験 企業研修見極め試験対策として実際の試験と同様の形式で模擬試験を行い作業の確実性とスピードアップを図る	
10	企業研修見極め試験 企業研修見極め試験の実施	
11	企業研修見極め試験 企業研修見極め試験の実施	
12	企業研修見極め試験 企業研修見極め試験の実施	
13	吊り置き混合の仕込み 7月までの復習を兼ね吊り、置きの一時的な仕込みを行う。吊り、置き仕込みを同時に行うことによって発生する問題を上げ円滑に仕込みが行えるようになることを目標とする	
14	吊り置き混合の仕込み 吊り、置きの一時的な仕込みをするにあたっての各個人の動きを明確にしチームワーク作業での確実性とスピードアップを目標とする	
15	前期のまとめ 前期の復習と苦手分野を中心に行い、それを克服する事を目標とする	

授業の方法	
講義・演習・実験・実技・実習	
授業概要	
<p>プランナー、チーフ、オペレーターとして必要となってくる知識や技術を習得するための授業です。実践的な仕込み、手書き図面の書き方、曲構成表の作り方、楽譜の読み方や理論などを学習します。 <実務経験のある教員等による授業科目></p>	
使用教材:革手袋,工具一式	
後期 到達目標	
実際に行われる学内イベントでの設営を仕込み図を使って行い、現場での作業の流れを身に付けます。	
評価方法	
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他	
授業計画	
授業項目	実施内容
1	トータル的な仕込み(実践) 講師がチーフとなり、週末に行われるイベント用図面を使用して、さまざまなプランの設営方法を行う
2	ピンスポットライトの練習 カットイン、カットアウトやフェードイン、フェードアウト等の操作を確実にこなせる事を目標とする
3	トータル的な仕込み(実践) 講師がチーフとなり、週末に行われるイベント用図面を使用して、さまざまなプランの設営方法を行う。
4	ピンスポットライトの練習 カットイン、カットアウトやフェードイン、フェードアウト等の操作を確実にこなせる事を目標とする
5	トータル的な仕込み(実践) 講師がチーフとなり、週末に行われるイベント用図面を使用して、さまざまなプランの設営方法を行う。
6	トータル的な仕込み(実践) 講師がチーフとなり、週末に行われるイベント用図面を使用して、さまざまなプランの設営方法を行う。
7	トータル的な仕込み(実践) 講師がチーフとなり、週末に行われるイベント用図面を使用して、さまざまなプランの設営方法を行う。
8	ピンスポットライトの練習 カットイン、カットアウトやフェードイン、フェードアウト等の操作を確実にこなせる事を目標とする
9	トータル的な仕込み(実践) 講師がチーフとなり、週末に行われるイベント用図面を使用して、さまざまなプランの設営方法を行う。
10	トータル的な仕込み(実践) 講師がチーフとなり、週末に行われるイベント用図面を使用して、さまざまなプランの設営方法を行う。
11	トータル的な仕込み(実践) 講師がチーフとなり、週末に行われるイベント用図面を使用して、さまざまなプランの設営方法を行う。
12	トータル的な仕込み(実践) 講師がチーフとなり、週末に行われるイベント用図面を使用して、さまざまなプランの設営方法を行う。
13	トータル的な仕込み(実践) 講師がチーフとなり、週末に行われるイベント用図面を使用して、さまざまなプランの設営方法を行う。
14	カウンターウエイト方式の吊り物 カウンターウエイト方式の吊り物機構の上げ方、下げ方、バランスの取り方などを練習する
15	1年間のまとめ 1年間で学習したことの復習をする。特に調光卓の操作方法とカウンターウエイト方式の吊り物について重点的に復習する

授業科目		授業時数
パソコン演習		60
学年	学科	専攻
1	音楽技術学科	照明スタッフ専攻
担当講師(プロフィール)		
松本 みさえ ソーシャルネットワークサービスの幅広い知識、パーソナルコンピューター、ビジネスソフトの指導員として経験豊富		

前期
到達目標
●Word・Excel・PowerPointの基本操作を習得する

評価方法
筆記試験・実技試験・実習評価(課題評価・小テスト・その他)

授業計画	
授業項目	実施内容
1	Wordの基本操作、文字入力 起動～画面構成～保存～終了までの基本操作と、IMEパッドの使い方を練習/フォルダ操作について学ぶ
2	W: 文書作成① (ページ設定・オートフォーマット・範囲選択・編集・装飾) 表のないビジネス文書の作成
3	W: 表作成とイラストの利用 表(挿入・レイアウト変更・線種変更・塗りつぶし)とイラスト(ワードアート・クリップアート)を入れたビジネス文書の作成
4	W: 図形描画/課題作成 (図形・テキストボックス・SmartArtの挿入と書式設定) 図形描画の機能を使用した文書作成/W: 課題作成
5	Excelの基本操作と 数式・簡単な関数の挿入 簡単な関数(SUM AVERAGE MAX MIN)の入った表を作成
6	E: 関数の活用①(絶対参照 IF RANK ROUND 等) 関数を利用した表を作成
7	E: グラフの作成と表の書式 設定 縦棒や円グラフの挿入～構成要素～書式設定と表の書式設定(表示形式・列と行の操作・セルの挿入や削除)を学ぶ
8	E: 印刷機能とシートの操作 ページレイアウト～ページ設定～ヘッダーとフッター機能の学習と、シート名変更～3D集計を学ぶ/課題発表
9	E: 課題作成 これまで学習した機能を使った課題を仕上げる
10	E: 条件付き書式・データの 入力規則 条件値を指定して書式を設定する・カラースケールなどの新機能を学習する・データの入力規則を学習する
11	Power Pointの基本操作 ブレースホルダーへの入力・スライドの追加・箇条書き・デザイン・アニメーション・画面切替効果について学ぶ
12	P: 画像の書式設定・印刷設 定/課題作成 取り込んだ写真等に書式を設定する ノート機能・配布資料としての印刷方法を学ぶ/課題作成
13	P: 課題作成 課題を作成する
14	E: 基礎編の復習 前期テスト 前期で学習した内容を元に、作品を完成させる
15	P: プレゼン スライドショーの機能を学習し、各自リハーサル機能を利用して、作成済の課題を発表する

授業の方法
講義・演習・実験・実技・実習
授業概要
パソコン起動から操作方法、タイピング、基本的な使用方法を理解していきます。社会人として必要なスキル(Word、Excel、Power Point)を学習します。 <実務経験のある教員等による授業科目>
使用教材:

後期
到達目標
●Officeソフトの機能を使いこなす ●考えて資料を作成することができるようになる

評価方法
筆記試験・実技試験・実習評価(課題評価・小テスト・その他)

授業計画	
授業項目	実施内容
1	フォルダ操作 フォルダ操作と他のソフト(ペイント)との連携 その他スクリーンショット機能
2	W: 見栄えの良い文書の編 集 (段組み・改ページ・タブとリーダー・インデント・ページ番号・ページ番号・置換)
3	W: 図形描画の応用・Excel データの利用 複数の図形を組み合わせて文書を作成する
4	W: 課題作成1 複数ページにわたる文書の作成
5	W: グリーティングカードの作 成 年賀状、クリスマスカード、誕生日カード、バレンタイン、暑中見舞い、様々なレイアウトを考える
6	P: アニメーションを組み合わ せる・プレゼンとは 開始・強調・終了・軌跡を組み合わせる 効果的なプレゼンの仕方を学習する/企画を考える
7	P: 企画書作成 今まで習得したことを応用し、各自でテーマを決め 企画書を作成する
8	P: 企画書作成 今まで習得したことを応用し、各自でテーマを決め 企画書を作成する
9	P: リハーサル・発表 リハーサルを入念に行う プレゼンを行う・他人の作品の評価をする
10	P: 発表 プレゼンを行う・他人の作品の評価をする 総復習
11	E: 復習 前期で学習した内容を元に、表を完成させる
12	E: 表の活用 (表示形式・入力規則・シートの保護) 入力を補助する機能や、見栄えの良い資料の作成方法を学 ぶ
13	E: 課題作成 これまで学習した機能を利用し、課題を作成
14	後期テスト 後期で学習した内容を元に、作品を完成させる
15	後期テスト振り返り

授業科目		授業時数
音響ゼミ		60
学年	学科	専攻
1	音楽技術学科	照明スタッフ専攻
担当講師(プロフィール)		
松原 啓之 バンド活動、ボーカルコーチ、大手外資系CDショップでのバイヤー経験から、学生に音楽のすばらしさを伝えてくれる。		

前期
到達目標
幅広いポップスの知識を得る ロックンロール登場以前 ロックンロール / ビートルズの成功と影響

評価方法
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他

授業計画	
授業項目	実施内容
1	ガイダンス 講義概要、授業コンセプトや年間の授業内容を説明。
2	MTV① 1980年代に登場した新たな音楽媒体MTVについて検証する。音楽マーケットへの影響力やビデオ制作における音楽性の変化などを掘り下げていく。同時に社会問題に発展した事件や音楽モラリズムの変化にも触れる。
3	MTV② MTVの存在位置を、当時の音楽マーケットへの影響力やビデオ制作における音楽性の変化などをヒントに掘り下げていく。MTVは当時の時代にどれくらい楽曲のセールスに影響したかを検証する。
4	MTV③ MTVの存在位置を、当時の音楽マーケットへの影響力やビデオ制作における音楽性の変化などをヒントに掘り下げていく。MTVは当時の時代にどれくらい楽曲のセールスに影響したかを検証する。
5	1980年代の洋楽事情② 1980年代のチャートをピックアップし、当時の音楽トレンドやアーティストイメージを考察する。当時のトレンド、ファッション、社会情勢等の様々なデータをもとにどういったものを市場が欲しているかを検証する。
6	1980年代の洋楽事情③ 1980年代を歴史的背景や経済事情、音楽界のムーブメントをヒントに研究する。どのようなアーティストが登場したのか、当時の音楽媒体や宣伝・広報は現在とどのような違いがあったかを検証する。
7	1980年代の洋楽事情④ 1980年代に活躍したアーティストをピックアップし、それぞれどのような影響を音楽界にもたらしたのかをアーティスト別に検証する。それぞれが持つ音楽性や音楽的ルーツ、個性のアピール等を題材としていく。
8	1990年代の洋楽事情① 1990年代のチャートをピックアップし、当時の音楽トレンドやアーティストイメージを考察する。当時のトレンド、ファッション、社会情勢等の様々なデータをもとにどういったものを市場が欲しているかを検証する。
9	1990年代の洋楽事情② 1990年代のチャートをピックアップし、当時の音楽トレンドやアーティストイメージを考察する。当時のトレンド、ファッション、社会情勢等の様々なデータをもとにどういったものを市場が欲しているかを検証する。
10	1990年代の洋楽事情③ 1990年代を歴史的背景や経済事情、音楽界のムーブメントをヒントに研究する。どのようなアーティストが登場したのか、当時の音楽媒体や宣伝・広報は現在とどのような違いがあったかを検証する。
11	1990年代の洋楽事情④ 1990年代に活躍したアーティストをピックアップし、それぞれどのような影響を音楽界にもたらしたのかをアーティスト別に検証する。それぞれが持つ音楽性や音楽的ルーツ、個性のアピール等を題材としていく。
12	各年代ムーブメント① これまでのまとめ、復習という意味合いで各年代のムーブメント、ヒットジャンル、アーティストをまとめて紹介する。試験に向けた情報の整理を促す。
13	各年代ムーブメント② これまでのまとめ、復習という意味合いで各年代のムーブメント、ヒットジャンル、アーティストをまとめて紹介する。試験に向けた情報の整理を促す。
14	前期試験
15	まとめ

授業の方法	
講義・ 演習 ・実験・実技・実習	
授業概要	
ポップスの歴史を通して、現在の音楽シーンの成り立ちやジャンルの派生、楽曲やアーティストに関する知識等を研究していきます。 ＜実務経験のある教員等による授業科目＞	
使用教材:総合音楽史	

後期
到達目標
幅広いポップスの知識を得る ハードロック・プログレッシブロック・グラムロック 巨大化するロックビジネス / パンク、レゲエ / ファンク・ヒップホップ

評価方法
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他

授業計画	
授業項目	実施内容
1	1970年代の洋楽事情① 1970年代のチャートをピックアップし、当時の音楽トレンドやアーティストイメージを考察する。当時のトレンド、ファッション、社会情勢等の様々なデータをもとにどういったものを市場が欲しているかを検証する。
2	1970年代の洋楽事情② 1970年代のチャートをピックアップし、当時の音楽トレンドやアーティストイメージを考察する。当時のトレンド、ファッション、社会情勢等の様々なデータをもとにどういったものを市場が欲しているかを検証する。
3	1970年代の洋楽事情③ 1970年代を歴史的背景や経済事情、音楽界のムーブメントをヒントに研究する。どのようなアーティストが登場したのか、当時の音楽媒体や宣伝・広報は現在とどのような違いがあったかを検証する。
4	1970年代の洋楽事情④ 1970年代に活躍したアーティストをピックアップし、それぞれどのような影響を音楽界にもたらしたのかをアーティスト別に検証する。それぞれが持つ音楽性や音楽的ルーツ、個性のアピール等を題材としていく。
5	1960年代の洋楽事情① 1960年代のチャートをピックアップし、当時の音楽トレンドやアーティストイメージを考察する。当時のトレンド、ファッション、社会情勢等の様々なデータをもとにどういったものを市場が欲しているかを検証する。
6	1960年代の洋楽事情② 1960年代のチャートをピックアップし、当時の音楽トレンドやアーティストイメージを考察する。当時のトレンド、ファッション、社会情勢等の様々なデータをもとにどういったものを市場が欲しているかを検証する。
7	1960年代の洋楽事情③ 1960年代を歴史的背景や経済事情、音楽界のムーブメントをヒントに研究する。どのようなアーティストが登場したのか、当時の音楽媒体や宣伝・広報は現在とどのような違いがあったかを検証する。
8	1960年代の洋楽事情④ 1960年代に活躍したアーティストをピックアップし、それぞれどのような影響を音楽界にもたらしたのかをアーティスト別に検証する。それぞれが持つ音楽性や音楽的ルーツ、個性のアピール等を題材としていく。
9	様々な音楽ジャンルについて①
10	様々な音楽ジャンルについて②
11	様々な音楽ジャンルについて③
12	各年代ムーブメント③ これまでのまとめ、復習という意味合いで各年代のムーブメント、ヒットジャンル、アーティストをまとめて紹介する。試験に向けた情報の整理を促す。
13	各年代ムーブメント④ これまでのまとめ、復習という意味合いで各年代のムーブメント、ヒットジャンル、アーティストをまとめて紹介する。試験に向けた情報の整理を促す。
14	後期試験
15	年間まとめ

授業科目		授業時数
舞台製作		60
学年	学科	専攻
1	音楽技術学科	照明スタッフ専攻
担当講師(プロフィール)		
野沢 瞳 確実性をモットーとした作業手順を伝授する。現場でのあらゆるトラブルに精通しており、その説明は具体的に理解しやすい。		

前期	
到達目標	
舞台専門用語、尺貫法を学び、照明スタッフに必要な知識を得、舞台セットを設営する事によって照明と舞台との関わりについて学習する。	

評価方法	
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他	

授業計画	
授業項目	実施内容
1	オリエンテーション 1年間の授業の目的と内容を説明。大道具作業に必要な工具の種類と役割について説明
2	尺貫法について 現在、日本の舞台関係で大きさを表す単位として使用されている尺貫法を解説し目安となる大きさを体の一部分を使って測れるように練習する
3	舞台セット(平台の組み方) 箱馬と平台を使用しての基本的な組み方を解説する。6×6、9×9、1尺高、1尺半、2尺高の組み合わせ方を学ぶ
4	舞台セット(平台の組み方) 箱馬と平台を使用して実際に平台を組み上げる。ガイの打つ位置や打ち方、バランス方を学ぶ
5	イントレの立て方 各部品の名称の解説と立て方を解説する。1基1段、2基2段など基本的な組み方を実践する
6	イントレの立て方 先週に引き続きイントレの様々な組み方を実践する。また、イントレへの昇り降りも注意事項を交えながら行う
7	トラスの立て方 トラスにベースを付けて立てる方法を学ぶ。ここではラチェット、マイナスドライバーの使用方を正しく学ぶ
8	トラスの結合 トラスを固定ジョイント、自在ジョイントを使用してもう少し複雑な形を組む。ここではラチェットの使用方を正しく学ぶ
9	イントレの立て方 イントレにタンカンやトラスをつける仕込み方を解説し、実践する
10	イントレの立て方 先週に引き続きイントレにタンカンやトラスをつける仕込みを行う。また、イントレなどへの機材の仕込み方も学ぶ
11	トラスの立て方 ベースやタンカンなどを使用したトラスの立て方を学ぶ
12	トラスの結合 トラスを固定ジョイント、自在ジョイントを使用して様々な形を組む
13	トラスの立て方 ベースやタンカンなどを使用したトラスの立て方を学ぶ
14	トラスの結合 トラスを固定ジョイント、自在ジョイントを使用して様々な形を組む
15	前期のまとめ 前期の復習としてそれぞれの組み立てを行い、それについての解説、補足を行う。

授業の方法	
講義・演習・実験・実技・実習	
授業概要	
平台や箱馬を使用した台の組み方、イントレやトラスの設営方法など大道具に関連する内容を学びます。組んだセットに機材を仕込んだり、照明の当て方などを研究します。 <実務経験のある教員等による授業科目>	
使用教材:革手袋,工具一式	

後期	
到達目標	
舞台セットを使用した照明演出の関わり方、ライブ照明以外の照明演出方法について学ぶ。	

評価方法	
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他	

授業計画	
授業項目	実施内容
1	ステージの仕込み(実践) 講師がチーフとなり、週末に行われるイベント用図面を使用して、平台やトラスなどを使用したステージの設営方法を行う。
2	トラスのイメージ図面作成 クラスのメンバーで次週に向けて作成するトラスセットのイメージ図面を書き込む(空図面に手書きで)
3	ステージの仕込み(実践) 講師がチーフとなり、週末に行われるイベント用図面を使用して、平台やトラスなどを使用したステージの設営方法を行う。
4	トラスセットの作成 前回作成した図面を基にトラスセットを作成する。ここでは怪我なく作業する事を第一とし、イメージ通りに作成できるかを学ぶ
5	ステージの仕込み(実践) 講師がチーフとなり、週末に行われるイベント用図面を使用して、平台やトラスなどを使用したステージの設営方法を行う。
6	ステージの仕込み(実践) 講師がチーフとなり、週末に行われるイベント用図面を使用して、平台やトラスなどを使用したステージの設営方法を行う。
7	ステージの仕込み(実践) 講師がチーフとなり、週末に行われるイベント用図面を使用して、平台やトラスなどを使用したステージの設営方法を行う。
8	物の結束・固定 舞台上でよく使用されるバンド線とビニールテープの正しい使用方法を学ぶ
9	ステージの仕込み(実践) 講師がチーフとなり、週末に行われるイベント用図面を使用して、平台やトラスなどを使用したステージの設営方法を行う。
10	ステージの仕込み(実践) 講師がチーフとなり、週末に行われるイベント用図面を使用して、平台やトラスなどを使用したステージの設営方法を行う。
11	ステージの仕込み(実践) 講師がチーフとなり、週末に行われるイベント用図面を使用して、平台やトラスなどを使用したステージの設営方法を行う。
12	ステージの仕込み(実践) 講師がチーフとなり、週末に行われるイベント用図面を使用して、平台やトラスなどを使用したステージの設営方法を行う。
13	ステージの仕込み(実践) 講師がチーフとなり、週末に行われるイベント用図面を使用して、平台やトラスなどを使用したステージの設営方法を行う。
14	火を表現してみる 本火を使用しないで火を表現する舞台セットの製作を行う。同時に照明を用いてより本物の火を連想させるかを学ぶ
15	後期のまとめ 年間で行った内容について復習を行う。また、それらについての解説、補足説明などを行っていく。

授業科目		授業時数
メンテナンス		60
学年	学科	専攻
1	音楽技術学科	照明スタッフ専攻
担当講師(プロフィール)		
川原 正弘 数々の舞台、イベント現場で照明を担当、新旧の機材に精通しており、特に初心者への教育には定評がある。自らの会社でも後進の育成に励んでいる。		
前期		
到達目標		
ニッパーやペンチなど工具の基本的な取り扱いを習得し、平打ちケーブル・キャプタイヤケーブルの製作、メンテナンスが出来るようになる。		
評価方法		
筆記試験・実技試験・実習評価(課題評価)・小テスト・その他		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1	ガイダンス 実習で使用していくニッパーや半田ごてなど工具の名称や取り扱い方法を説明	
2	線加工① 平打ちケーブルを使いケーブルの構造を理解すると共に、線剥きを繰り返し練習する ※今回はニッパーを使ってのケーブル剥きを学ぶ	
3	線加工② 平打ちケーブルを使いケーブルの構造を理解すると共に、線剥きを繰り返し練習する ※今回はカッターを使ってのケーブル剥きを学ぶ	
4	ケーブル製作① 平打ちケーブルを使い、ケーブル剥きからミニコネクタの取り付けまでを行い、延長ケーブルを製作し照明ケーブルの構造を理解する	
5	ケーブル製作② 平打ちケーブルを使い、ケーブル剥きからミニコネクタの取り付けまでを行い、延長ケーブルを製作し照明ケーブルの構造を理解する	
6	ケーブル製作③ 平打ちケーブルを使い、ケーブル剥きからミニコネクタの取り付けまでを行い、延長ケーブルを製作し照明ケーブルの構造を理解する	
7	測定練習 テスターを使用して、完成したケーブルにトラブルがないか回路測定していく	
8	線加工① キャプタイヤケーブルを使い、ケーブルの構造を理解すると共に、線剥きを繰り返し練習する	
9	線加工② キャプタイヤケーブルを使い、ケーブルの構造を理解すると共に、線剥きを繰り返し練習する	
10	ケーブル製作① キャプタイヤケーブルを使い、ケーブル剥きからミニコネクタの取り付けまでを行い、延長ケーブルを製作し照明ケーブルの構造を理解する	
11	ケーブル製作② キャプタイヤケーブルを使い、ケーブル剥きからミニコネクタの取り付けまでを行い、延長ケーブルを製作し照明ケーブルの構造を理解する	
12	ケーブル製作③ キャプタイヤケーブルを使い、ケーブル剥きからミニコネクタの取り付けまでを行い、延長ケーブルを製作し照明ケーブルの構造を理解する	
13	測定練習 テスターを使用して、完成したケーブルにトラブルがないか回路測定していく	
14	試験提出 前期のまとめとして試験提出用にキャプタイヤケーブルの延長ケーブルを製作し提出する。また、注意点などを確認し後期につなげる	
15	前期のまとめ 前期で学んだことを復習しながら、後期に製作していくものについての導入を行う	

授業の方法	
講義・演習・実験・実技(実習)	
授業概要	
現場や就職先でメンテナンスができるようになることを目的として実施しています。工具の扱い方の学習、延長ケーブル、信号線の作成を行います。 <実務経験のある教員等による授業科目>	
使用教材:工具一式	
後期	
到達目標	
田ごての取り扱い方法を習得し、3P信号ケーブル・5P信号ケーブルの制作、メンテナンスが出来るようになる。	
評価方法	
筆記試験・実技試験・実習評価(課題評価)・小テスト・その他	
授業計画	
授業項目	実施内容
1	ガイダンス 信号ケーブルを製作するにあたって半田ごての取り扱い方法や、ケーブルの構造について説明する
2	線加工① 信号ケーブルを使いケーブルの構造を理解すると共に、線剥きを繰り返し練習しケーブル加工の基本を学んでいく
3	線加工② 信号ケーブルを使いケーブルの構造を理解すると共に、線剥きを繰り返し練習しケーブル加工の基本を学んでいく
4	線加工③ 線剥きされた信号ケーブルを使いケーブルの構造を理解すると共に、線剥きを繰り返し練習しケーブル加工の基本を学んでいく
5	線加工④ 線剥きされた信号ケーブルを使いケーブルの構造を理解すると共に、線剥きを繰り返し練習しケーブル加工の基本を学んでいく
6	3P信号ケーブルの製作 信号ケーブルを使って①～④の工程を行い、3P信号ケーブルを製作する
7	測定練習 テスターを使用して、完成したケーブルにトラブルがないか回路測定していく
8	線加工① 信号ケーブルを使いケーブルの構造を理解すると共に、線剥きを繰り返し練習しケーブル加工の基本を学んでいく
9	線加工② 信号ケーブルを使いケーブルの構造を理解すると共に、線剥きを繰り返し練習しケーブル加工の基本を学んでいく
10	線加工③ 線剥きされた信号ケーブルで5Pキャノンを使い、半田付けを繰り返し練習し、半田付け作業の基本を学んでいく
11	線加工④ 線剥きされた信号ケーブルを使いケーブルの構造を理解すると共に、線剥きを繰り返し練習しケーブル加工の基本を学んでいく
12	5P信号ケーブルの製作 信号ケーブルを使って①～④の工程を行い、5P信号ケーブルを製作する
13	測定練習 テスターを使用して、完成したケーブルにトラブルがないか回路測定していく
14	試験提出 後期のまとめとして試験提出用に3P、5P信号ケーブルを製作し提出する。また、注意点などを確認し製作のクオリティを上げる
15	後期のまとめ 後期で学んだ事を復習しながら、2年次には授業中のトラブルにも対処できるようにする

授業科目		授業時数
照明実習		240
学年	学科	専攻
1	音楽技術学科	照明スタッフ専攻
担当講師(プロフィール)		
<p>川原 正弘 数々の舞台、イベント現場で照明を担当、新旧の機材に精通しており、特に初心者への教育には定評がある。自らの会社でも後進の育成に励んでいる。</p>		
前期 到達目標		
<p>照明スタッフに必要な基礎技術を学ぶと共に、吊り仕込みの基礎、置き仕込みの基礎、CL・FRのシュート、ピンスポットライトの基礎と企業研修検定に必要な項目を習得します。</p>		
評価方法		
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1	オリエンテーション 作業での安全基準の説明をし舞台機構や名称、器具の取り扱い方法を解説する	
2	吊り仕込みの基礎 SUSでの吊り込み方と回路取りについて解説し実際に作業を行う。回路取りをする際には二又ケーブルを使用し、使用上の注意事項を含め作業に取りかかる	
3	吊り仕込みの基礎 先週の続きでSUSでの吊り込み方と回路取りについて解説し実際に作業を行う。回路取りをする際には延長ケーブルを使用し、使用上の注意事項を含め作業に取りかかる	
4	置き仕込みの基礎 置物関係を中心に行いスタンド、ハイスランド、オベタ等の取扱い方法を説明し実際に作業を行う。置物を仕込む事にあたってのケーブルのはわせ方を説明し作業を行う	
5	置き仕込みの基礎 先週の続きで置物関係を中心に行いスタンド、ハイスランド、オベタ等の取扱い方法を説明し実際に作業を行う。置物を仕込む事にあたってのケーブルのはわせ方を説明し作業を行う	
6	CLのシュート シーリングスポットライトの役割とシュート方法を解説し実際に作業を行う。シュート方法を理解し確実に作業を行えるようになることを目標とする	
7	FRのシュート フロントサイドスポットの役割とシュート方法を解説し実際に作業を行う。シュート方法を理解し確実に作業を行えるようになることを目標とする	
8	ピンスポットライトの基礎 1Kwクセノンピンスポットライトの構造と操作方法を説明する。狙いの取り方、カットイン、カットアウトやフェードイン、フェードアウト等の違いを説明し確実に操作を行えることを目標とする	
9	ピンスポットライトの基礎 1Kwクセノンピンスポットライトの構造と操作方法を説明する。狙いの取り方、カットイン、カットアウトやフェードイン、フェードアウト等の違いを説明し確実に操作を行えることを目標とする	
10	模擬試験 先週の続きで企業研修見極め試験対策として実際の試験と同様の形式で模擬試験を行い作業の確実性とスピードアップを図る	
11	企業研修見極め試験 企業研修見極め試験の実施	
12	企業研修見極め試験 企業研修見極め試験の実施	
13	吊り置き仕込み 7月までの復習を兼ね、吊り・置きのトータル的な仕込みを行う。吊り・置き仕込みを同時に行うことによって発生する問題を挙げ円滑に仕込みが行えるようになることを目標とする	
14	吊り置き仕込み 吊り、置きのトータル的な仕込みをするにあたっての各個人の動きを明確にしチームワーク作業での確実性とスピードアップを目標とする	
15	前期のまとめ 前期の復習と苦手分野を中心に行い、それを克服し後期からの授業が円滑に進められるようにする	

授業の方法	
講義・演習・実験・実技 実習	
授業概要	
<p>機材の解説や舞台機構の説明など基礎的な部分から始まり、反復練習を行いながら2年間で照明スタッフとして必要な技術を身につけます。2年次は音響と合同でイベントをイメージした授業展開を実施します。 <実務経験のある教員等による授業科目></p>	
使用教材:革手袋,工具一式	
後期 到達目標	
<p>前期で学んだ事を活かして吊り、置きのトータル的な仕込みを学習します。また、調光操作卓の操作方法からカウンターウエイト方式の吊り方、仮設ユニットの仕込みと設営の応用まで学びます。</p>	
評価方法	
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他	
授業計画	
授業項目	実施内容
1	水平幕の使用 タワーの使用法を学び、タワーを使用して水平幕の使用法を学ぶ
2	水平幕の使用 タワーの使用法を学び、タワーを使用して水平幕の使用法を学ぶ
3	水平幕・アッパー・ローア水平幕の使用法 前回同様に水平幕を仕込み、それに付随してアッパー・ローア水平幕ライトを設置する。また、UH・LHの卓への入れ込み、明かり作りまで行う
4	水平幕・アッパー・ローア水平幕の使用法 前回同様に水平幕を仕込み、それに付随してアッパー・ローア水平幕ライトを設置する。また、UH・LHの卓への入れ込み、明かり作りまで行う
5	水平幕・アッパー・ローア水平幕の使用法 前回同様に水平幕を仕込み、マシンを使用してネタを移す方法を学び、効果を検証する
6	トータル的な仕込み(実践) 講師がチーフとなり、さまざまなプランの設営方法を行う。照明実習で学んだ事を活用し、決められた時間内の仕込みを行う
7	トータル的な仕込み(実践) 講師がチーフとなり、さまざまなプランの設営方法を行う。照明実習で学んだ事を活用し、決められた時間内の仕込みを行う
8	水平幕の使用 星球の仕組み、仕込み方、効果などを学ぶ
9	トータル的な仕込み(実践) 講師がチーフとなり、さまざまなプランの設営方法を行う。照明実習で学んだ事を活用し、決められた時間内の仕込みを行う
10	トータル的な仕込み(実践) 講師がチーフとなり、さまざまなプランの設営方法を行う。照明実習で学んだ事を活用し、決められた時間内の仕込みを行う
11	トータル的な仕込み(実践) 講師がチーフとなり、さまざまなプランの設営方法を行う。照明実習で学んだ事を活用し、決められた時間内の仕込みを行う
12	カウンターウエイト方式の吊り物 カウンターウエイト方式の吊り物機構の上げ方、下げ方、バランスの取り方などを練習する
13	トータル的な仕込み(実践) 講師がチーフとなり、さまざまなプランの設営方法を行う。照明実習1Aで学んだ事を活用し、決められた時間内の仕込みを行う
14	仮設ユニット、ムービングの仕込み方 仮設電源ユニットの組み方、電源の取り方、電圧の測り方とムービングライトの仕込み方を学び、練習する
15	1年間のまとめ 1年間で学習したことの復習をする。特に調光卓の操作方法とカウンターウエイト方式の吊り物について重点的に復習する

授業科目		授業時数
一般教養		60
学年	学科	専攻
1	音楽技術学科	照明スタッフ専攻
担当講師(プロフィール)		
山田 敏子 「現代マナーズ研究会」代表。ビジネスマナー研修を軸に関西を中心企業・団体・大学等で人材育成に携わる。		
前期 到達目標		
<ul style="list-style-type: none"> ●基本マナーやコミュニケーションの重要性を理解する ●挨拶、美しいお辞儀、きちんとした自己紹介ができる 		
評価方法		
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1	授業概要の説明・動機付け この授業の趣旨、目的を理解し、学生生活と職場の違いや仕事の取り組み方について説明し、この1年で達成したい目標を設定する。	
2	自己紹介の仕方 職場での挨拶、公の場での自己紹介の仕方を学び、基本形に則した手法で実技を取り入れながら学習する。	
3	挨拶・お辞儀の重要性 基本の立ち姿や立礼・かけ礼三種を接遇用語を活用し実技を取り入れながら身に付ける。	
4	話し方・あがり対処法 あがらずに人前で自分の考えを述べることができるような手法を取り入れながら実技を行う。	
5	3分間スピーチ 人前でスピーチの基本形を知り、テーマを設定したスピーチを交えながら問題点、注意点を話し合い学ぶ。	
6	企業の求める人間像 これから始まる就職活動や企業研修に向けて、求められる人材を集団面接や新入社員教育でも用いられるグループディスカッション形式で意見を出し合い学ぶ。	
7	電話でのアポイントメントの取り方 就職活動や企業研修等で企業に電話をかける際の手順や失礼にならない話し方を学ぶ。	
8	名刺交換 名刺の渡し方や受け方、名刺を切らしている時などの対処法の仕方等、実践を取り入れながら学習する。	
9	敬語の基本 ビジネスにふさわしい言葉や尊敬語、謙譲語、丁寧語の使い分けを学び、実践できるよう理解する。また、二重敬語などの誤った使い方や、ビジネス上での人の呼び方を学び実際に場面を設定して実践する。	
10	敬語の応用 お客様に対する接遇用語や使い方を学び、実際に場面を設定して実践し、注意点、問題点を話し合い深める。	
11	電話対応 電話対応で会社のレベルも判断されるということから正しい電話の受け方やかけ方、取次ぎ方などを説明し実践を取り入れながら学習する。	
12	電話応対 不在時に行き届いた臨機応変なメモの作成、また苦情電話を上手に受け、固定客につなげる手法を実技を取り入れながら学習する。	
13	ビジネスでの贈答の心得 慶事や弔事のマナーを知り、仕事で発生した場合に備え慰労や金封紙の種類や使い分け、送る時期等を学ぶ。	
14	前期試験実施日 前期内容より出題	
15	命令の受け方 安心して仕事を任せられるための指示・命令の受け方のポイントを学習する。	

授業の方法	
講義・演習・実験・実技・実習	
授業概要	
仕事への取り組み姿勢、挨拶や敬語の使い方、電話対応、名刺交換の仕方などのビジネスマナーと共に、履歴書の書き方や面接の受け方など就職活動時に役立つスキルを学びます。 <実務経験のある教員等による授業科目>	
使用教材:	
後期 到達目標	
<ul style="list-style-type: none"> ●エントリーシートや履歴書でアピールできる ●社外文書の形式で添え状や御礼状が書ける ●面接の場での立ち居振る舞いや受け答えができる 	
評価方法	
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他	
授業計画	
授業項目	実施内容
1	お礼状・挨拶状の書き方 迅速にお礼状を出す習慣をつけるとともに、文字の大きさやバランスを考えた封書・はがきの表書きを学ぶ。
2	履歴書 就職活動時に必要となる履歴書の書き方を、見た目の印象を大切にしながら良い例と悪い例を知った上で作成する。
3	履歴書 履歴書の書き方、特に志望動機・自己アピールの仕方にポイントを絞り作成する。
4	履歴書 清書を仕上げ提出する。また、それに伴う封筒の書き方、封緘の仕方を学ぶ。
5	面接のマナー 面接室での立ち振る舞いや言葉遣い、座席の順位などを学び、就職活動時の面接に備える。
6	模擬面接 質疑応答を交えながら実践形式で行い、各人に合ったアドバイスを受け、注意点や問題点を話し合い深める。
7	模擬面接 質疑応答を交えながら実践形式で行い、各人に合ったアドバイスを受け、注意点や問題点を話し合い深める。
8	自己診断チェック 人物本位と言われる面接で自分自身について聞かれる質問を想定し、いかにポイントをおさえてアピールするかを学ぶ。
9	企業診断・学生診断チェック 会社に関してどういった項目を調べ準備すれば良いか、また学生生活について聞かれるであろう内容について準備する。
10	一般教養チェック・身だしなみ他 当日の注意 一般教養に関して聞かれる内容の準備、第一印象の重要性、当日の持ち物や控え室などでの注意事項を学ぶ。
11	是非知っておきたいテーブルマナー ビジネスで人と会食を共にすることは人間関係を築く上でも重要である。周囲を不快にさせない会食のマナーを身に付ける。
12	立食パーティーのマナー 会社の各種行事では立食パーティーが主流である。歓談を目的とし、マナーをわきまえた振る舞いを身に付けるよう実技を交えて学ぶ。
13	後期試験実施日
14	後期試験返却と解説 信頼される仕事の受け方、口頭・文書による報告の仕方やタイムング、要領などのポイントを学習する。
15	学生と社会人の違い 仕事に必要とされる8つの意識を学び、社会人としての心構えを醸成。即戦力として役立つ人材になることを目指す。

授業科目		授業時数
イベント制作		32
学年	学科	専攻
1	音楽技術学科	照明スタッフ専攻
担当講師(プロフィール)		
川原 正弘 数々の舞台、イベント現場で照明を担当、新旧の機材に精通しており、特に初心者への教育には定評がある。自らの会社でも後進の育成に励んでいる。		
前期		
到達目標		
評価方法		
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

授業の方法	
講義・演習・実験・実技・実習	
授業概要	
学生たちの自主性を重視したかたちで様々なイベント・コンテンツ等の発表を行います。照明プラン&図面、仕込み、当日配置やシフト等すべての工程を実施します。 <実務経験のある教員等による授業科目>	
使用教材:	
後期	
到達目標	
学校全体の行事として実施、各学科の特徴を生かしたかたちで成果発表を盛り込む。学年及び各学科・専攻により制作レベルには違いはあるが、学校全体としての大きな目標を理解して進める。	
評価方法	
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他	
授業計画	
授業項目	実施内容
1	全体構想 過去のイベントを参考に、「イベント」といわれる仕事についての解説を行い、各学科が習得している内容を生かすヒントを与えていく。そして、大きな仕組みの理解をしてもらう。
2	イベント準備 今回のイベント趣旨やその目的等をわかりやすく解説。公募されるものの仕組みや学生全体で担当する具体的なものを紹介していく。
3	参加内容 自分たちの参加内容をアイデア出し、企画・プランニングしていく。学科・専攻で参加するものやグループ・個人で出演やコンテンツ参加等、いろんな関わり方を知ってもらう。
4	制作① 具体的な計画術を学んでいく。具体的にする作業内容、そこから導くチェックリスト、制作スケジュールや予算等を明確にしていく。
5	制作② 担当別にグループや個人に依頼して割り振る考え方を持っていく。そのための期限等は、その次のスケジュールに影響を及ぼすことも学んでいく。
6	制作③ 広範囲の内容にも理解を示していく。実際には、どれだけの集客を望めたのかが結果として出てくるものになるので、その集計やアンケート回収などの知識を学ぶ。
7	実施運営① 具体的な用意(仕込み/準備等)を行う。担当箇所の運営にあたる人のスケジュールを作成。その担当者のチェック項目を明確にするもの等を揃えて実施運営としていく。また簡単なルール・マニュアル作りも大切な要素となる。
8	実施運営② 実施運営を行い、最終的なものとしての撤収作業。準備時間よりも早く終わるものだが、廃棄・保存・記録等の作業が次年度に関係してくるものとなる。
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	

授業科目		授業時数
業界研究		68

学年	学科	専攻
1	音楽技術学科	照明スタッフ専攻

担当講師(プロフィール)	
豊島 芳樹 ホール音響、音楽録音、ラジオ番組制作、設備・メンテナンス等あらゆる形態の音響現場を経験しており、それぞれの形態を詳しく教授する。	

前期	
到達目標	
目指す業界の基本的な仕事内容を理解していく。他の実習授業との兼ね合いも関連していくことを十分に理解して学内外のイベントや実習に触れていく。	

評価方法	
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他	

授業計画	
授業項目	実施内容
1	新歓コンサート (4) 入学してすぐに1学年上の学生が担当する演奏・技術・制作を含めた総合的な内容のコンサートイベントを見学。特に自分たちが目指す内容の仕事を意識したかたちで体感してもらう。
2	検定対策 (20) 学外での研修を受けるために最低限必要な知識や動きの基本的な内容を学び検定というかたちで理解を確認していく。
3	足場の組立て (8) イベントやコンサートで使用されているイントレ等の扱いに関して労働安全衛生法にもとづく特別教育をおこなう。
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	

授業の方法	
講義・演習・実験・実技・実習	
授業概要	
依頼される学内外のクライアント主導イベントの制作業務、ガイダンス参加、業界での必要な資格取得への取り組みなど自身の視野を広げる職種研究を行います。 <実務経験のある教員等による授業科目>	
使用教材:	

後期	
到達目標	
学内の基本的な実習内容を理解した上で、他の学科との関係性を考える。自分自身が携わる部分を意識出来るようにしてもらい、その業界での仕事スタイルや慣習を学ぶ。	

評価方法	
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他	

授業計画	
授業項目	実施内容
1	芸術鑑賞 (4) プロの現場の見学するために、チケット販売をされている内容の劇場・コンサート会場・ライブハウス等を利用した鑑賞。各学科により、その内容を年度毎に吟味して実施する。
2	就活対策講座 (8) 「就職」という内容に対する基礎的な知識や心構えを吸収していく。イベント・コンサートツアー・ホール勤務・ライブハウス等、仕事内容的な違いも理解する。
3	照明特別授業 (4) 学内ホールで使用していない機材を特別に持込み、その構造やセッティング方法、そして使用方法や効果を確認する実習。
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	

授業科目		授業時数
音楽業界概論		60
学年	学科	専攻
2	音楽技術学科	照明スタッフ専攻
担当講師(プロフィール)		
豊島 芳樹 ホール音響、音楽録音、ラジオ番組制作、設備・メンテナンス等あらゆる形態の音響現場を経験しており、それぞれの形態を詳しく教授する。		
前期 到達目標		
CD制作の仕組みを理解 音楽業界の各分野の会社組織を知る		
評価方法		
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1	年間スケジュール 2年生の年間スケジュールの説明、就職対策講座や会社説明会等の仕組みとその内容を改めて解説します。	
2	検定試験 再度、検定試験等の受験を説明、2年間で色んなものを勉強して検定取得を目指します。	
3	面談(就職活動相談) 個々に時間を取って、方向性・活動状況・家族の同意・自分自身が迷う事等をリサーチしていきます。	
4	面談(就職活動相談)	
5	面談(就職活動相談)	
6	CD制作の仕組み① CD制作工程を、レコーディング(原盤制作)も入れて理解していきます。企画、楽曲A&R、アレンジ企画、ミュージシャンPU、スタジオ、エンジニア、ジャケット撮影、リリース等、商品を作るために沢山の人が動きます。	
7	CD制作の仕組み② プレスされたCDが、どのようなかたちで流通するのか? また、売上げはどういう方法で加算されるのか等、制作～流通、消費者に届くまでを勉強します。	
8	検定試験対策① 模擬試験等を用意して実際に実施をします。採点は、学生自身もしくは隣同士で採点を行い、弱い部分等をPULしていきます。	
9	プロダクションにやイベント制作について 実際の現場では、まずイベント・コンサート(レコーディング)等の企画を起こして「実施を企てる」ところからスタートします。皆さんの現場は、その後に発注されるものでもあります。	
10	舞台制作会社について イベントホールやコンサートホールの管理についての仕組みを学びます。また、野外特設等でも無いところからステージを製作していく会社の存在にも着目します。	
11	照明会社について 照明会社のホール管理部門、イベント特設部門等の仕組みについて理解を深めます。	
12	映像関連について 映像に関しては、TV局の撮影・収録・編集(送出)やイベント現場でのスクリーン設置、映像収録やライブ中継等、多岐にわたります。	
13	総復習 個々の方向性をしっかり固めて、就職活動をしていきます。その為の補足的内容も付け加えて行きます。	
14	前期試験	
15	FOLLOW 研修先等での行動をしっかり行い、自分が吸収した内容を見直し、後期に臨みます。	

授業の方法	
講義・演習・実験・実技・実習	
授業概要	
音響関連企業、照明関連企業、映像関連企業、プロダクション、レーベル、レコード会社等、多岐にわたる業界関連企業を理解して、個々の就職に向けた活動に役立てていける概論です。 ＜実務経験のある教員等による授業科目＞	
使用教材:	
後期 到達目標	
音楽配信の仕組みを理解する / 自分たちでイベント制作を行う 自分自身をプレゼンテーションできる	
評価方法	
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他	
授業計画	
授業項目	実施内容
1	音楽配信の仕組み① CDの流通は激減、配信によって音楽が購入されていきます。基本的な流れを理解してもらい、今後の変化にも対応します。
2	音楽配信の仕組み② 音楽配信のおかげで今まで、知ることができなかった、様々なミュージシャンたちの演奏も見ることが出来てしまいます。各国のアーティストが発信を続けて行く限りない世界に突入している現状です。
3	裏方に対しての表方[運営]について ステージ上もしくは、ステージに関連する内容を行う裏方さんと、そのイベントやコンサートを観覧するお客様の案内・誘導を行う「表方」が存在します。みんなの仕事は、そのチケット代で成立しています。
4	学園祭準備① クラス単位で、学園祭のイベント・コンサート音響を支えています。そのための配分や担当を考えて進めて行きます。音楽ビジネス専攻からの情報を共有します。
5	学園祭準備② 内容が明確にわかってくると、それに向かった準備を、1年、2年で協力して行います。2年生は先輩として、1年生を教える立場でもあります。
6	学園祭準備③ 現場を仕込む段取り、事前に作られたプランを参考にみんなで協力していく体制を作っていく、本番に臨みます。
7	面談(就職活動相談) 時期的には、最終の就職相談時期となります。再度、方向性・活動状況・家族の同意・悩む内容に対してキャリアスタッフと共に相談していきます。
8	面談(就職活動相談)
9	オリジナリティ 自分にあると信じたい「オリジナリティ」の勉強です。意外に音楽内容では無い可能性もありますが、自分の長所を見極めていけると嬉しく、自信にも繋がってきます。
10	プレゼンテーション1週目 2週に渡って、「自分の将来像」を自分なりにまとめ、自己分析も含め、自分の説明を考えてもらい、発表する場面を作っていきます。
11	プレゼンテーション2週目
12	これからの音楽業界 皆さんが進む音楽業界ですが、また5年もすれば、流行りもシステムも変化していきます。ただ、過去の流行を辿ると、この先が見えるかも知れません。
13	総復習 作業も含まれ、自分の周りの専攻だけではなく状況で作業をしていきます。就職に役立つ内容として理解してください。
14	前期試験
15	FOLLOW 任される内容に対して答えたいける実力を培ってもらえれば大丈夫です。現場は「人」ありきのものなので、コミュニケーション力をUPさせる努力をしていきましょう。

授業科目		授業時数
音楽技術論		60
学年	学科	専攻
2	音楽技術学科	照明スタッフ専攻
担当講師(プロフィール)		
野沢 瞳 確実性をモットーとした作業手順を伝授する。現場でのあらゆるトラブルに精通しており、その説明は具体的で理解しやすい。		
前期 到達目標		
発光原理、色についての知識		
評価方法		
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1	さまざまなランプの種類 白熱電球・ハロゲン電球・放電ランプ・HID等のランプの種類について学習します	
2	白熱電球の構造 白熱電球と放電灯の違いを知るためにまず白熱灯の発達についてやタングステン電球の特性、構造を解説し学ぶ	
3	ハロゲンサイクルの原理 前週の続きで同じ白熱灯の中のハロゲン電球の特性、構造、種類を解説し学ぶ	
4	放電ランプ タングステン電球、ハロゲン電球などの白熱灯とは構造が違う放電灯についてその種類や構造、特性を解説し学ぶ	
5	放電の原理 水銀ランプ・アーク・プラズマの放電・発光の原理について解説します。また、蛍光ランプ・水銀ランプの違い・点灯方法・発光方法・点灯後の状態についても学ぶ	
6	メタルハライドランプについて メタルハライドランプとはどういったものなのか詳しく解説し、メタルハライドランプの種類についても説明します	
7	キセノンランプについて アーク放電によって発光するキセノンランプについて解説します。また、キセノンアークショートランプの特徴として、スペクトル・始動から安定までの時間・ガス圧・指導方法にいたるまでを詳しく解説します	
8	光・目の構造について 人間の光を感じる部分として目がありどのようにして光を感じ取るかを知るために光と目の関係、目の構造、順応性、残像について詳しく解説します	
9	光について 光の単位・照度と距離の関係について学ぶ。また、光の反射・透過・屈折(レンズを使用した例を元)に解説します	
10	光について 光の単位・照度と距離の関係について学ぶ。また、光の反射・透過・屈折(レンズを使用した例を元)に解説します	
11	色について 物体色と光源色・色の3要素について学ぶ。また、加法混色・減法混色についても表を使用して解説します	
12	色について 物体色と光源色・色の3要素について学ぶ。また、加法混色・減法混色についても表を使用して解説します	
13	前期のまとめ 前期で学習した照明工学の基礎についてもう一度復習し、後期からの授業に備える	
14	前期試験	
15	前期試験の返却と解説	

授業の方法	
講義・演習・実験・実技・実習	
授業概要	
照明の仕事としての舞台用語や歴史、ホールの種類や構造、照明器具類や電気の知識、現場などでの仮設電源に関する知識を学びます。 <実務経験のある教員等による授業科目>	
使用教材:舞台テレビジョン照明 基礎編	
後期 到達目標	
DMX信号、三段プリセット調光操作卓やムービング卓の機能の習得。	
評価方法	
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他	
授業計画	
授業項目	実施内容
1	電子について1 電気の流れから電子というものについて詳しく解説します。導体・絶縁体・半導体についても例となる物質を挙げ、詳しく解説します
2	電子について2 電気の流れから電子というものについて詳しく解説します。導体・絶縁体・半導体についても例となる物質を挙げ、詳しく解説します
3	調光装置 現在の調光装置について説明し、制御している信号の流れや負荷をかける電気の流れを解説し学習する
4	調光信号について 前週、解説した信号流れを復習し実際に使用しているデジタル信号とアナログ信号の違いや概念を解説し学習する
5	DMX512とDMX信号関連機器 デジタル信号の特性やデジタル8ビットについて解説する。その他、パッチの種類やパッチの方式について学習する。また、スプリッター・ターミネーター・信号変換器機等のDMX信号の関連機器について説明します
6	信号の配線について DMXの配線について、ムービングライト・カラーチェンジャーの調光信号の配線方法を例に別紙にて学習します
7	パッチング パッチにはどのような種類があるかや種類ごとの使用方法について解説し学習する。また、ソフトパッチのの特徴、メリット等についても解説します
8	調光操作卓の機能 調光操作卓の記憶機能についてどのような記憶ができ、使用方法、記憶の種類などを解説し学習する
9	調光卓のその他の機能 クロスフェーダーの役割と機能(メモリー再生フェーダーでのCUEメモリー再生方法)、パート機能・バックアップ機能・マクロ機能・ヒートアップ機能・同期機能について解説します
10	ムービングスポットの機能 各種ムービングスポットの種類や機能について解説します
11	ムービングスポットの機能 各種ムービングスポットの種類や機能について解説します
12	ムービング卓の機能 ムービング卓に備わっている各種機能について解説します
13	1年間のまとめ 1年間で学習したことを再確認し学習したことの重要性、必要性を読み取り卒業後にも活かせるよう復習をする
14	後期試験
15	後期試験の返却と解説

授業科目		授業時数
技術演習		120

学年	学科	専攻
2	音楽技術学科	照明スタッフ専攻

担当講師(プロフィール)	
野沢 瞳 確実性をモットーとした作業手順を伝授する。現場でのあらゆるトラブルに精通しており、その説明は具体的で理解しやすい。	

前期 到達目標	
テンプレートの使用方法及び、図面制作における基礎の習得。 音源から楽曲の構成を理解し、簡単な譜面に書き表せるようになること。 リズムの概念を理解することで、照明オペレーターのタイミングに対応出来るようになること	

評価方法	
筆記試験・実技試験・実習評価(課題評価)・小テスト・その他	

授業計画		
授業項目	実施内容	
1	イメージの学習・音楽照明の色コンテ	1年間で行なわれる授業の内容についての説明。自分の中で曲のイメージを膨らませ色として再現するためのノウハウを学習する
2	図面を読み取るための知識	仕込み図を作成するにあたり、必要な知識を解説する
3	図面を読み取るための知識	仕込み図を作成するにあたり、必要な知識を解説する
4	仕込み図の制作	照明用テンプレートを使用して手書きの仕込み図と調光卓フェーダー入れ込み表、ユニット入れ込み表を制作する
5	仕込み図の制作	照明用テンプレートを使用して手書きの仕込み図と調光卓フェーダー入れ込み表、ユニット入れ込み表を制作する
6	仕込み図の制作	照明用テンプレートを使用して手書きの仕込み図と調光卓フェーダー入れ込み表、ユニット入れ込み表を制作する
7	仕込み図の制作	照明用テンプレートを使用して手書きの仕込み図と調光卓フェーダー入れ込み表、ユニット入れ込み表を制作する
8	仕込み図の制作 リズムの概念について	照明用テンプレートを使用して手書きの仕込み図と調光卓フェーダー入れ込み表、ユニット入れ込み表を制作する
9	仕込み図の制作	照明用テンプレートを使用して手書きの仕込み図と調光卓フェーダー入れ込み表、ユニット入れ込み表を制作する
10	仕込み図の制作	照明用テンプレートを使用して手書きの仕込み図と調光卓フェーダー入れ込み表、ユニット入れ込み表を制作する
11	仕込み図の制作	照明用テンプレートを使用して手書きの仕込み図と調光卓フェーダー入れ込み表、ユニット入れ込み表を制作する
12	仕込み図の制作	照明用テンプレートを使用して手書きの仕込み図と調光卓フェーダー入れ込み表、ユニット入れ込み表を制作する
13	仕込み図の制作	照明用テンプレートを使用して手書きの仕込み図と調光卓フェーダー入れ込み表、ユニット入れ込み表を制作する
14	仕込み図の制作	照明用テンプレートを使用して手書きの仕込み図と調光卓フェーダー入れ込み表、ユニット入れ込み表を制作する
15	様々な照明の研究	各自で持ち寄ったDVDを鑑賞し、照明デザインやオペレート、効果について話し合い、研究する。

授業の方法	
講義・演習・実験・実技・実習	

授業概要	
プランナー、チーフ、オペレーターとして必要となってくる知識や技術を習得するための授業です。実践的な仕込み、手書き図面の書き方、曲構成表の作り方、楽譜の読み方や理論などを学習します。 <実務経験のある教員等による授業科目>	

使用教材:テンプレート	
-------------	--

後期 到達目標	
学内イベントの図面を制作する事で実践力を高め、イベントで使用出来る、吊り、置き、立面図のプランニングが出来るようになる。 楽曲の成り立ちを理解することを、コンサート等の演出に役立てられるようになること。	

評価方法	
筆記試験・実技試験・実習評価(課題評価)・小テスト・その他	

授業計画		
授業項目	実施内容	
1	様々な照明の研究	各自で持ち寄ったDVDを鑑賞し、照明デザインやオペレート、効果について話し合い、研究する。
2	様々な照明の研究	各自で持ち寄ったDVDを鑑賞し、照明デザインやオペレート、効果について話し合い、研究する。
3	様々な照明の研究	各自で持ち寄ったDVDを鑑賞し、照明デザインやオペレート、効果について話し合い、研究する。
4	様々な照明の研究	各自で持ち寄ったDVDを鑑賞し、照明デザインやオペレート、効果について話し合い、研究する。
5	様々な照明の研究	各自で持ち寄ったDVDを鑑賞し、照明デザインやオペレート、効果について話し合い、研究する。
6	様々な照明の研究	各自で持ち寄ったDVDを鑑賞し、照明デザインやオペレート、効果について話し合い、研究する。
7	様々な照明の研究	各自で持ち寄ったDVDを鑑賞し、照明デザインやオペレート、効果について話し合い、研究する。
8	様々な照明の研究	各自で持ち寄ったDVDを鑑賞し、照明デザインやオペレート、効果について話し合い、研究する。
9	様々な照明の研究	各自で持ち寄ったDVDを鑑賞し、照明デザインやオペレート、効果について話し合い、研究する。
10	様々な照明の研究	各自で持ち寄ったDVDを鑑賞し、照明デザインやオペレート、効果について話し合い、研究する。
11	様々な照明の研究	各自で持ち寄ったDVDを鑑賞し、照明デザインやオペレート、効果について話し合い、研究する。
12	様々な照明の研究	各自で持ち寄ったDVDを鑑賞し、照明デザインやオペレート、効果について話し合い、研究する。
13	様々な照明の研究	各自で持ち寄ったDVDを鑑賞し、照明デザインやオペレート、効果について話し合い、研究する。
14	様々な照明の研究	各自で持ち寄ったDVDを鑑賞し、照明デザインやオペレート、効果について話し合い、研究する。
15	様々な照明の研究	各自で持ち寄ったDVDを鑑賞し、照明デザインやオペレート、効果について話し合い、研究する。

授業科目		授業時数
照明ゼミ		120
学年	学科	専攻
2	音楽技術学科	照明スタッフ専攻
担当講師(プロフィール)		
川原 正弘 数々の舞台、イベント現場で照明を担当、新旧の機材に精通しており、特に初心者への教育には定評がある。自らの会社でも後進の育成に励んでいる。		

前期
到達目標
学生主催イベントの設営をプランニングから行い、チーフを担当する事によって、本番に対する責任感、チームの一体感を学びます。

評価方法
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他

授業計画	
授業項目	実施内容
1	イベントの仕込み(実践) 講師がチーフとなり、さまざまなプランの設営方法を行う。決められた時間内での設営→シュートを行い、現場さながらの応用力を高める
2	イベントの仕込み(実践) 講師がチーフとなり、さまざまなプランの設営方法を行う。決められた時間内での設営→シュートを行い、現場さながらの応用力を高める
3	イベントの仕込み(実践) 講師がチーフとなり、さまざまなプランの設営方法を行う。決められた時間内での設営→シュートを行い、現場さながらの応用力を高める
4	イベントの仕込み(実践) 講師がチーフとなり、さまざまなプランの設営方法を行う。決められた時間内での設営→シュートを行い、現場さながらの応用力を高める
5	イベントの仕込み(実践) 講師がチーフとなり、さまざまなプランの設営方法を行う。決められた時間内での設営→シュートを行い、現場さながらの応用力を高める
6	イベントの仕込み(実践) 講師がチーフとなり、さまざまなプランの設営方法を行う。決められた時間内での設営→シュートを行い、現場さながらの応用力を高める
7	イベントの仕込み(実践) 講師がチーフとなり、さまざまなプランの設営方法を行う。決められた時間内での設営→シュートを行い、現場さながらの応用力を高める
8	イベントの仕込み(実践) 講師がチーフとなり、さまざまなプランの設営方法を行う。決められた時間内での設営→シュートを行い、現場さながらの応用力を高める
9	イベントの仕込み(実践) 講師がチーフとなり、さまざまなプランの設営方法を行う。決められた時間内での設営→シュートを行い、現場さながらの応用力を高める
10	イベントの仕込み(実践) 講師がチーフとなり、さまざまなプランの設営方法を行う。決められた時間内での設営→シュートを行い、現場さながらの応用力を高める
11	複合照明 仮設電源ユニット、常設回路を複合した仕込みを行う。ここでは常設回路と仮設電源ユニットの負荷回路の振り分け方法などを学ぶ
12	学生主体イベントの仕込み(実践) 学生が主体となってプランニングから行い、そのプランを元に設営→シュートまで学生たち自らで考え実践する
13	イベントの仕込み(実践) 講師がチーフとなり、さまざまなプランの設営方法を行う。決められた時間内での設営→シュートを行い、現場さながらの応用力を高める
14	イベントの仕込み(実践) 講師がチーフとなり、さまざまなプランの設営方法を行う。決められた時間内での設営→シュートを行い、現場さながらの応用力を高める
15	イベントの仕込み(実践) 講師がチーフとなり、さまざまなプランの設営方法を行う。決められた時間内での設営→シュートを行い、現場さながらの応用力を高める

授業の方法
講義・ 演習 ・実験・実技・実習
授業概要
基礎的な照明技術を基に、それらを繰り返し応用していく授業です。実際にオーダーがあるイベントの仕込みを行う内容となります。 <実務経験のある教員等による授業科目>
使用教材:革手袋、工具一式

後期
到達目標
学生主催イベントの設営をプランニングから行い、チーフを担当する事によって、本番に対する責任感、チームとしての一体感を学びます。

評価方法
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他

授業計画	
授業項目	実施内容
1	イベントの仕込み(実践) 講師がチーフとなり、さまざまなプランの設営方法を行う。決められた時間内での設営→シュートを行い、現場さながらの応用力を高める
2	トータル的な仕込み 学生がチーフとなり、図面を作成。それをもとに仕込みを行い、早く確実に仕込みを行えることを目標とする
3	イベントの仕込み(実践) 講師がチーフとなり、さまざまなプランの設営方法を行う。決められた時間内での設営→シュートを行い、現場さながらの応用力を高める
4	トータル的な仕込み 学生がチーフとなり、図面を作成。それをもとに仕込みを行い、早く確実に仕込みを行えることを目標とする
5	イベントの仕込み(実践) 講師がチーフとなり、さまざまなプランの設営方法を行う。決められた時間内での設営→シュートを行い、現場さながらの応用力を高める
6	イベントの仕込み(実践) 講師がチーフとなり、さまざまなプランの設営方法を行う。決められた時間内での設営→シュートを行い、現場さながらの応用力を高める
7	イベントの仕込み(実践) 講師がチーフとなり、さまざまなプランの設営方法を行う。決められた時間内での設営→シュートを行い、現場さながらの応用力を高める
8	トータル的な仕込み 学生がチーフとなり、図面を作成。それをもとに仕込みを行い、早く確実に仕込みを行えることを目標とする
9	イベントの仕込み(実践) 講師がチーフとなり、さまざまなプランの設営方法を行う。決められた時間内での設営→シュートを行い、現場さながらの応用力を高める
10	イベントの仕込み(実践) 講師がチーフとなり、さまざまなプランの設営方法を行う。決められた時間内での設営→シュートを行い、現場さながらの応用力を高める
11	イベントの仕込み(実践) 講師がチーフとなり、さまざまなプランの設営方法を行う。決められた時間内での設営→シュートを行い、現場さながらの応用力を高める
12	イベントの仕込み(実践) 講師がチーフとなり、さまざまなプランの設営方法を行う。決められた時間内での設営→シュートを行い、現場さながらの応用力を高める
13	イベントの仕込み(実践) 講師がチーフとなり、さまざまなプランの設営方法を行う。決められた時間内での設営→シュートを行い、現場さながらの応用力を高める
14	トータル的な仕込み 学生がチーフとなり、図面を作成。それをもとに仕込みを行い、早く確実に仕込みを行えることを目標とする
15	1年間のまとめ 1年間で学習したことを振り返り、就職後にすぐに役立つようもう一度、十分学習する

授業科目		授業時数
プランニング		60
学年	学科	専攻
2	音楽技術学科	照明スタッフ専攻
担当講師(プロフィール)		
野沢 瞳 確実性をモットーとした作業手順を伝授する。現場でのあらゆるトラブルに精通しており、その説明は具体的で理解しやすい。		
前期 到達目標		
仕込み図制作におけるCADソフトの基本操作方法の習得。		
評価方法		
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1	基本操作 CADソフトの基本操作の解説。操作に慣れるためにそれぞれのツールの使用方法、パレットの種類などの使用方法を学ぶ	
2	基本操作 CADソフトの操作に慣れるために円や四角形などを数値で入力する方法やパーツの結合方法、展開方法を学ぶ	
3	基本操作 CADソフトの操作に慣れるために円や四角形などを数値で入力する方法やパーツの結合方法、展開方法を学ぶ	
4	図面作成 CATHALLの図面を使用して、各自で考えた図面を作成する。	
5	図面作成 CATHALLの図面を使用して、各自で考えた図面を作成する。	
6	図面作成 CATHALLの図面を使用して、各自で考えた図面を作成する。	
7	図面作成 CATHALLの図面を使用して、各自で考えた図面を作成する。	
8	図面作成 CATHALLの図面を使用して、各自で考えた図面を作成する。	
9	図面作成 CATHALLの図面を使用して、各自で考えた図面を作成する。	
10	図面作成 CATHALLの図面を使用して、各自で考えた図面を作成する。	
11	図面作成 CATHALLの図面を使用して、各自で考えた図面を作成する。	
12	図面作成 CATHALLの図面を使用して、各自で考えた図面を作成する。	
13	学園祭仕込み図の製作 学園祭の仕込み図、調光卓入れ込み表、仮設電源入れ込み表を製作する	
14	学園祭仕込み図の製作 学園祭の仕込み図、調光卓入れ込み表、仮設電源入れ込み表を製作する	
15	学園祭仕込み図の製作 学園祭の仕込み図、調光卓入れ込み表、仮設電源入れ込み表を製作する	

授業の方法	
講義・演習・実験・実技・実習	
授業概要	
フリーCADソフトを使用し、ソフトの使い方や照明の仕込み図面の描き方を学び、学内イベントで使用する仕込み図を作成します。 <実務経験のある教員等による授業科目>	
使用教材:USBフラッシュメモリ	
後期 到達目標	
実際に行われるイベントの図面を制作する事で、プランニング力、応用力を習得。	
評価方法	
筆記試験・実技試験・実習評価(課題評価)・小テスト・その他平常点	
授業計画	
授業項目	実施内容
1	学園祭仕込み図の製作 学園祭仕込み図、調光卓入れ込み表、仮設電源入れ込み表を製作する
2	学園祭仕込み図の製作 学園祭仕込み図、調光卓入れ込み表、仮設電源入れ込み表を製作する
3	学園祭仕込み図の製作 学園祭仕込み図、調光卓入れ込み表、仮設電源入れ込み表を製作する
4	学園祭仕込み図の製作 学園祭仕込み図、調光卓入れ込み表、仮設電源入れ込み表を製作する
5	卒業コンサート仕込み図の製作 卒業コンサートの仕込み図、調光卓入れ込み表、仮設電源入れ込み表を製作する
6	卒業コンサート仕込み図の製作 卒業コンサートの仕込み図、調光卓入れ込み表、仮設電源入れ込み表を製作する
7	卒業コンサート仕込み図の製作 卒業コンサートの仕込み図、調光卓入れ込み表、仮設電源入れ込み表を製作する
8	卒業コンサート仕込み図の製作 卒業コンサートの仕込み図、調光卓入れ込み表、仮設電源入れ込み表を製作する
9	卒業コンサート仕込み図の製作 卒業コンサートの仕込み図、調光卓入れ込み表、仮設電源入れ込み表を製作する
10	卒業コンサート仕込み図の製作 卒業コンサートの仕込み図、調光卓入れ込み表、仮設電源入れ込み表を製作する
11	卒業コンサート仕込み図の製作 卒業コンサートの仕込み図、調光卓入れ込み表、仮設電源入れ込み表を製作する
12	卒業コンサート仕込み図の製作 卒業コンサートの仕込み図、調光卓入れ込み表、仮設電源入れ込み表を製作する
13	卒業コンサート仕込み図の製作 卒業コンサートの仕込み図、調光卓入れ込み表、仮設電源入れ込み表を製作する
14	卒業コンサート仕込み図の製作 卒業コンサートの仕込み図、調光卓入れ込み表、仮設電源入れ込み表を製作する
15	卒業コンサート仕込み図の製作 卒業コンサートの仕込み図、調光卓入れ込み表、仮設電源入れ込み表を製作する

授業科目		授業時数
ムービングライト		120
学年	学科	専攻
2	音楽技術学科	照明スタッフ専攻
担当講師(プロフィール)		
堀田 裕子 プランニングから仕込みまでスピード感を持った作業を信条としており、学生にも素早い行動を教授している。		

前期
到達目標
ムービングライトの構造の理解、調光卓の操作方法を学び、カラー、ゴボ、ポジション決め等を習得。データ入力から簡単なオペレーションが出来る事を目指します。

評価方法
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他平常点

授業計画	
授業項目	実施内容
1	ムービングライト(ヨークタイプ) ムービングライト(灯体)の内部構造と各部の名称と役割を解説する
2	ムービングライト(ヨークタイプ) ムービングライト(灯体)の内部構造と各部の名称と役割を解説する
3	ムービングライト(ヨークタイプ) ムービングライト(灯体)の内部構造と各部の名称と役割を解説する
4	ムービングライト(ヨークタイプ) ムービングライトのディスプレイの解説。灯体のアドレス設定の方法。灯体でのランプON、OFF等を学ぶ
5	調光卓、シミュレーションソフトの解説 調光卓、シミュレーションソフトを使用して、カラー、ゴボ、フォーカス、プリズム、アイリス、アニメーション、ポジションの説明
6	調光卓、シミュレーションソフトの解説 調光卓、シミュレーションソフトを使用してポジションの記憶方法を解説する。ここでは固定ポジションの記憶方法を学ぶ。あわせて他の機能の記憶方法も解説
7	調光卓、シミュレーションソフトの解説 調光卓、シミュレーションソフトを使用してサブマスターの解説。実際に明かりを作り、サブマスターにデータを打ち込む
8	調光卓、シミュレーションソフトの解説 調光卓、シミュレーションソフトを使用してサブマスターの解説。実際に明かりを作り、サブマスターにデータを打ち込む
9	調光卓、シミュレーションソフトの解説 調光卓、シミュレーションソフトを使用してマトリックスの解説。マトリックスを使用して、タイムを打ってサブマスターに記憶する方法を学ぶ
10	調光卓、シミュレーションソフトの解説 調光卓、シミュレーションソフトを使用してチェイスの解説。DIMでチェイス機能を使用しランダムストロボを作成。POSITIONでチェイス機能を使用しサークルを作成。チェイス機能の基礎を学ぶ
11	調光卓、シミュレーションソフトの解説 調光卓、シミュレーションソフトを使用してチェイスの解説。POSITIONでチェイス機能を使用しウエイブの作成。POSITION等で複雑なチェイスの作り方の仕組みを学ぶ
12	ムービングライトトラブルシューティング 灯体のトラブルが起こった場合のリセットの方法や、灯体が正常に作動しない場合の信号線の問題や、灯体の問題の解説を学ぶ
13	前期のまとめ
14	前期試験
15	試験返却

授業の方法
講義・演習・実験・実技(実習)
授業概要
ムービングライトの機材構造や仕込み・調整、各シーン作りなどを学習します。PC上のシミュレーションソフトを使用してシーン作りの研究を行います。<実務経験のある教員等による授業科目>
使用教材:革手袋、工具一式

後期
到達目標
チェイス機能などの調光卓の応用を学び、トラブルシューティングまでマスターします。サポート無しで設定から本番オペレーションが出来る事を目指します。また、シミュレーションソフトを使用したPC上でのシーン作り等も学習します。

評価方法
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他平常点

授業計画	
授業項目	実施内容
1	ムービングライトデモンストレーション これまで学んできた基本的な機能を使用して、曲のシーンに合わせて明かりを作ってみる。次週に向けてのデータの作成
2	ムービングライトデモンストレーション これまで学んできた基本的な機能を使用して、曲のシーンに合わせて明かりを作ってみる。次週に向けてのデータの作成
3	ムービングライトデモンストレーション これまで学んできた基本的な機能を使用して、曲のシーンに合わせて明かりを作ってみる。次週に向けてのデータの作成
4	ムービングライトデモンストレーション これまで学んできた基本的な機能を使用して、曲のシーンに合わせて明かりを作ってみる。次週に向けてのデータの作成
5	ムービングライトデモンストレーション これまで学んできた基本的な機能を使用して、曲のシーンに合わせて明かりを作ってみる。次週に向けてのデータの作成
6	ムービングライトデモンストレーション これまで学んできた基本的な機能を使用して、曲のシーンに合わせて明かりを作ってみる。次週に向けてのデータの作成
7	ムービングライトデモンストレーション これまで学んできた基本的な機能を使用して、曲のシーンに合わせて明かりを作ってみる。次週に向けてのデータの作成
8	ムービングライトデモンストレーション これまで学んできた基本的な機能を使用して、曲のシーンに合わせて明かりを作ってみる。次週に向けてのデータの作成
9	ムービングライトデモンストレーション これまで学んできた基本的な機能を使用して、曲のシーンに合わせて明かりを作ってみる。次週に向けてのデータの作成
10	ムービングライトデモンストレーション これまで学んできた基本的な機能を使用して、曲のシーンに合わせて明かりを作ってみる。次週に向けてのデータの作成
11	ムービングライトデモンストレーション これまで学んできた基本的な機能を使用して、曲のシーンに合わせて明かりを作ってみる。次週に向けてのデータの作成
12	ムービングライトデモンストレーション これまで学んできた基本的な機能を使用して、曲のシーンに合わせて明かりを作ってみる。次週に向けてのデータの作成
13	ムービングライトデモンストレーション これまで学んできた基本的な機能を使用して、曲のシーンに合わせて明かりを作ってみる。次週に向けてのデータの作成
14	ムービングライトデモンストレーション 先週までに作成したデータを使用している制作発表
15	1年間のまとめ

授業科目		授業時数
照明実習		240

学年	学科	専攻
2	音楽技術学科	照明スタッフ専攻

担当講師(プロフィール)	
堀田 裕子 プランニングから仕込みまでスピード感を持った作業を信条としており、学生にも素早い行動を教授している。	

前期	
到達目標	
カウンターウエイト方式、仮設仕込みといった設営の応用を学ぶ。 また、実際に行われるイベントの設営を行うことにより、実践力を高める。	

評価方法	
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他平常点	

授業計画		
授業項目	実施内容	
1	イベントの仕込み(実践)	講師がチーフとなり、さまざまなプランの設営方法を行う。決められた時間内での設営→シュートを行い、現場さながらの応用力を高める
2	イベントの仕込み(実践)	講師がチーフとなり、さまざまなプランの設営方法を行う。決められた時間内での設営→シュートを行い、現場さながらの応用力を高める
3	イベントの仕込み(実践)	講師がチーフとなり、さまざまなプランの設営方法を行う。決められた時間内での設営→シュートを行い、現場さながらの応用力を高める
4	イベントの仕込み(実践)	講師がチーフとなり、さまざまなプランの設営方法を行う。決められた時間内での設営→シュートを行い、現場さながらの応用力を高める
5	イベントの仕込み(実践)	講師がチーフとなり、さまざまなプランの設営方法を行う。決められた時間内での設営→シュートを行い、現場さながらの応用力を高める
6	イベントの仕込み(実践)	講師がチーフとなり、さまざまなプランの設営方法を行う。決められた時間内での設営→シュートを行い、現場さながらの応用力を高める
7	イベントの仕込み(実践)	講師がチーフとなり、さまざまなプランの設営方法を行う。決められた時間内での設営→シュートを行い、現場さながらの応用力を高める
8	イベントの仕込み(実践)	講師がチーフとなり、さまざまなプランの設営方法を行う。決められた時間内での設営→シュートを行い、現場さながらの応用力を高める
9	イベントの仕込み(実践)	講師がチーフとなり、さまざまなプランの設営方法を行う。決められた時間内での設営→シュートを行い、現場さながらの応用力を高める
10	イベントの仕込み(実践)	講師がチーフとなり、さまざまなプランの設営方法を行う。決められた時間内での設営→シュートを行い、現場さながらの応用力を高める
11	複合照明	仮設電源ユニット、常設回路を複合した仕込みを行う。ここでは常設回路と仮設電源ユニットの負荷回路の振り分け方法などを学ぶ
12	学生主体イベントの仕込み(実践)	学生が中心となってプランニングから行き、そのプランを元に設営→シュートまで学生たち自らで考え実践する
13	イベントの仕込み(実践)	講師がチーフとなり、さまざまなプランの設営方法を行う。決められた時間内での設営→シュートを行い、現場さながらの応用力を高める
14	イベントの仕込み(実践)	講師がチーフとなり、さまざまなプランの設営方法を行う。決められた時間内での設営→シュートを行い、現場さながらの応用力を高める
15	イベントの仕込み(実践)	講師がチーフとなり、さまざまなプランの設営方法を行う。決められた時間内での設営→シュートを行い、現場さながらの応用力を高める

授業の方法	
講義・演習・実験・実技・実習	

授業概要	
機材の解説や舞台機構の説明など基礎的な部分から始まり、反復練習を行いながら2年間で照明スタッフとして必要な技術を身につけます。2年次は音響と合同でイベントをイメージした授業展開を実施します。 <実務経験のある教員等による授業科目>	

使用教材:革手袋、工具一式	
---------------	--

後期	
到達目標	
学生主催イベントの設営をプランニングから行き、チーフを担当する事によって、本番に対する責任感、チームとしての一体感を学びます。	

評価方法	
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他平常点	

授業計画		
授業項目	実施内容	
1	イベントの仕込み(実践)	講師がチーフとなり、さまざまなプランの設営方法を行う。決められた時間内での設営→シュートを行い、現場さながらの応用力を高める
2	トータル的な仕込み	学生がチーフとなり、図面を作成。それをもとに仕込みを行い、早く確実に仕込みを行えることを目標とする
3	イベントの仕込み(実践)	講師がチーフとなり、さまざまなプランの設営方法を行う。決められた時間内での設営→シュートを行い、現場さながらの応用力を高める
4	トータル的な仕込み	学生がチーフとなり、図面を作成。それをもとに仕込みを行い、早く確実に仕込みを行えることを目標とする
5	イベントの仕込み(実践)	講師がチーフとなり、さまざまなプランの設営方法を行う。決められた時間内での設営→シュートを行い、現場さながらの応用力を高める
6	イベントの仕込み(実践)	講師がチーフとなり、さまざまなプランの設営方法を行う。決められた時間内での設営→シュートを行い、現場さながらの応用力を高める
7	イベントの仕込み(実践)	講師がチーフとなり、さまざまなプランの設営方法を行う。決められた時間内での設営→シュートを行い、現場さながらの応用力を高める
8	トータル的な仕込み	学生がチーフとなり、図面を作成。それをもとに仕込みを行い、早く確実に仕込みを行えることを目標とする
9	イベントの仕込み(実践)	講師がチーフとなり、さまざまなプランの設営方法を行う。決められた時間内での設営→シュートを行い、現場さながらの応用力を高める
10	イベントの仕込み(実践)	講師がチーフとなり、さまざまなプランの設営方法を行う。決められた時間内での設営→シュートを行い、現場さながらの応用力を高める
11	イベントの仕込み(実践)	講師がチーフとなり、さまざまなプランの設営方法を行う。決められた時間内での設営→シュートを行い、現場さながらの応用力を高める
12	イベントの仕込み(実践)	講師がチーフとなり、さまざまなプランの設営方法を行う。決められた時間内での設営→シュートを行い、現場さながらの応用力を高める
13	イベントの仕込み(実践)	講師がチーフとなり、さまざまなプランの設営方法を行う。決められた時間内での設営→シュートを行い、現場さながらの応用力を高める
14	トータル的な仕込み	学生がチーフとなり、図面を作成。それをもとに仕込みを行い、早く確実に仕込みを行えることを目標とする
15	1年間のまとめ	1年間で学習したことを振り返り、就職時にすぐ役立つようもう一度、十分復習をする

授業科目		授業時数
イベント制作		32

学年	学科	専攻
2	音楽技術学科	照明スタッフ専攻

担当講師(プロフィール)	
川原 正弘 数々の舞台、イベント現場で照明を担当、新旧の機材に精通しており、特に初心者への教育には定評がある。自らの会社でも後進の育成に励んでいる。	

前期	
到達目標	

評価方法	
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他	

授業計画		
授業項目	実施内容	
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

授業の方法	
講義・演習・実験・実技・実習	

授業概要	
学生たちの自主性を重視したかたちで様々なイベント・コンテンツ等の発表を行います。照明プラン&図面、仕込み、当日配置やシフト等すべての工程を実施します。 <実務経験のある教員等による授業科目>	

使用教材:	

後期	
到達目標	
学校全体の行事として実施、各学科の特徴を生かしたかたちで成果発表を盛り込む。学年及び各学科・専攻により制作レベルには違いはあるが、学校全体としての大きな目標を理解して進める。2年次は、後輩となる1年の指導もイベント制作の重要項目となる。	

評価方法	
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他	

授業計画		
授業項目	実施内容	
1	全体構想	2年目の「イベント」として昨年の反省を踏まえ、各学科が習得している内容を生かせる工夫をしていく。また、全体の動きを理解して、色んな担当を任せていく。
2	イベント準備	今回のイベント趣旨やその目的等をわかりやすく解説。公募されるものの内容、学生全体で担当する具体的なものに参加していく。
3	参加内容	自分たちの参加内容をアイデア出し、企画・プランニングしていく。学科・専攻で参加するものやグループ・個人で出演やコンテンツ参加等、いろんな関わり方を知ってもらう。
4	制作①	具体的な計画術を学んでいく。具体的にする作業内容、そこから導くチェックリスト、制作スケジュールや予算等を明確にしていく。
5	制作②	担当別にグループや個人に依頼して割り振る考え方を持っていく。そのための期限等は、その次のスケジュールに影響を及ぼすことも学んで行く。
6	制作③	広報的な内容にも理解を示していく。実際には、どれだけの集客を望めたのかが結果として出てくるものになるので、その集計やアンケート回収などの知識を学ぶ。
7	実施運営①	具体的な用意(仕込み/準備等)を行う。担当箇所の運営にあたる人のスケジュールを作成。その担当者のチェック項目を明確にするもの等を揃えて実施運営としていく。また簡単なルール・マニュアル作りも大切な要素となる。
8	実施運営②	実施運営を行い、最後の撤収作業まで責任を持って行う。その後、廃棄・保存・記録等の作業が次年度に関係してくるので、申し送り等の作業をしっかり行う。
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

授業科目		授業時数
業界研究		32
学年	学科	専攻
2	音楽技術学科	照明スタッフ専攻
担当講師(プロフィール)		
豊島 芳樹 ホール音響、音楽録音、ラジオ番組制作、設備・メンテナンス等あらゆる形態の音響現場を経験しており、それぞれの形態を詳しく教授する。		

前期
到達目標
目指す業界の幅広い仕事内容を知ってもらう。習得した知識や実技内容との関連も考えながら、業界との接点を感じてもらう。

評価方法
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・ その他

授業計画	
授業項目	実施内容
1	就活対策講座 (8) 具体的に就職に必要な様式について学び、勤務地や企業選別も含め、企業研究の知識も学ぶ。自分の将来を決めるターニングポイントでもあるため、しっかりした意識を維持していく。
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	

授業の方法
講義 ・演習・実験・実技・ 実習
授業概要
依頼される学内外のクライアント主導イベントの制作業務、ガイダンス参加、業界での必要な資格取得への取り組みなど自身の視野を広げる職種研究を行います。 <実務経験のある教員等による授業科目>
使用教材:

後期
到達目標
学内外での実習内容を消化しながら、他の学科との仕事の関係性を学んで行く。自分自身が携わる部分、また協力できる部分等を意識してもらい、創り上げていく流れを体感、理解するようにする。

評価方法
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・ その他

授業計画	
授業項目	実施内容
1	芸術鑑賞 (4) プロの現場の見学するために、チケット販売をされている内容の劇場・コンサート会場・ライブハウス等を利用した鑑賞。各学科により、その内容を年度毎に吟味して実施する。
2	卒業コンサート (4) 学内で行う学生たちの主導で行うイベントの最終形。出演・技術/制作/運営等のスタッフやオーディエンス等も含め、その一体感的なものを学んでもらう内容。
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	